

地域経済に関するアンケート

1 地域経済を発展させるため、何が必要だと思いますか。(〇で囲んで下さい。複数OK)

1. 銀行の貸し渋り対策
2. 国・自治体から事業者への直接融資制度
3. 仕事おこしをすすめる
4. 官公需を地元業者に発注する
5. 商店街振興のための「地域買い物券」の発行
6. 府・市による事業者の実態調査
7. その他 ()

2 地域における商店街や中小企業についてのご意見

切り取り線

切り取り線



『朝日新聞』2月6日付

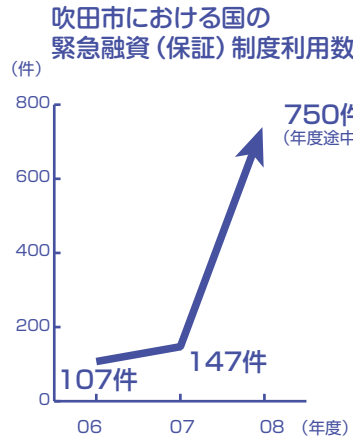


地域経済を守るため 事業者、自治体、市民に もとめられるもの？

中小企業に大きな打撃

深刻な経済情勢のもと、「まるでジェットコースターで落とされたよう」「10割減産でどうやって生きていけるのか」中小企業は大きな打撃を受けています。

急増する融資利用者

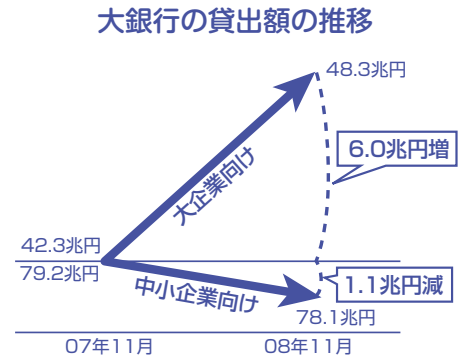


大企業に偏る政府の支援

政府は、大企業・大銀行には何十兆円もの公的支援をおこないながら、中小企業予算はわずか1889億円にすぎません。

大銀行による貸し渋り、貸しはがしが追い打ち

大銀行は、体力があるのに中小企業への融資を減らしています。このため、赤字でも債務超過でもないのに当面の資金繰りができず倒産する企業が増えています。



各地の自治体で仕事おこし

住宅の耐震補強、学校・保育所・地域施設等の改修など小規模修繕工書の発注、商店街振興のための「地域買い物券」の発行など、各地の自治体が、地元の中小企業向けの仕事おこしとして取り組んでいます。



池田市で発行した「ふくまる商品券」



まいど1号記念券発行を知らせる東大阪市のHP

どうしようも考えましよう

どうすれば吹田の地域経済が活性化するのか、みなさんとともに考えたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

経営のことなど市政相談は、日本共産党吹田市議会議員団へ



倉沢さとし



そろり邦雄



山根たかし



村口はじめ



竹村 博之



塩見みゆき



柿原 まき



玉井みき子

これまで日本共産党吹田市議団が主催したシンポジウム

1997年 7月	吹田操車場跡地利用を考えるシンポジウム	2001年 6月	吹田の商工振興を考えるシンポジウム	
1998年 9月	高齢者の福祉と介護を考えるシンポジウム	2002年 10月	吹田の街づくりを考えるシンポジウム	
	10月	スポーツ・シンポジウム	2003年 9月	ごみ問題を考えるシンポジウム
1999年 9月	「男女平等の促進」を求める吹田シンポジウム	2004年 3月	文化シンポジウム	
2000年 3月	マンション・シンポジウム	2005年 4月	子育てと子どもの安全を考えるシンポジウム	
	11月	子育て・少子化問題シンポジウム	2006年 7月	「格差社会と公的責任」を考えるシンポジウム
	12月	障害者施策を考えるシンポジウム	2008年 3月	「地域医療」を考えるシンポジウム

※「しんぶん赤旗」1月21日付より